

実践交流&シンポジウム「そこが知りたい！ 道德の教科化」 ご案内（第二次）

主催 熊本大学教育学部 後援 熊本県教育委員会・熊本市教育委員会

ごあいさつ

このたび熊本大学教育学部では、文部科学省からの事業委託ならびに熊本県・市教育委員会からのご後援を受け、実践交流&シンポジウム「そこが知りたい！ 道德の教科化」を開催することになりました。

本行事は、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から「特別の教科 道德」が正式にスタートするのに備え、教科化に向けての悩みや不安、疑問点などを出し合い、今後の実践に向けての示唆を得ることをねらいとするものです。

本行事では、前半に4つの分科会（以下のA～D）を設け、それぞれのテーマに関する実践例（本年度熊本で行われた研究授業・公開授業）を紹介し、情報交換・意見交換を行いたいと思います。また、後半の全体会では、上越教育大学の林 泰成先生から各分科会のテーマに関連するお話をいただき、全体討論へとつなげていく予定です。

ぜひ多くの先生方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

教育学部長 八幡 英幸

分科会 **A**

「多面的・多角的に考える」とは？
実践例 … 中学校

分科会 **C**

「問題解決的な学習」とは？
実践例 … 中学校

分科会 **B**

「自己の生き方についての考えを
深める」とは？
実践例 … 小学校

分科会 **D**

「道徳的行為に関する体験的
な学習」とは？
実践例 … 小学校

2017 平成29年 3月4日（土）

会場 熊本大学教育学部
詳細はp.4の会場案内をご覧ください

12:30 受付開始
13:00～14:00 分科会
14:15～17:30 全体会



日 程

13:00~14:00 分科会（実践交流）

分科会 A 「多面的・多角的に考える」とは？

話し合いが活発になればなるほど、授業のねらいや内容項目から外れてしまいがち。では、どうすればいいのか。

実践報告 八郷 正一 先生（城南中教諭） 実践例：熊本市わくわく授業研究会から
コーディネーター 藤本 正子 先生（北部中教諭）

分科会 B 「自己の生き方についての考えを深める」とは？

どのような資料を使って、どのような授業をすれば、子どもたちは道徳を「自分の問題」としてとらえるようになるのか。

実践報告 宮原 大輔 先生（附属小教諭） 実践例：教育学部附属小学校の研究授業
コーディネーター 田中 恒次 先生（附属小教頭） から

分科会 C 「問題解決的な学習」とは？

どのような「問題」を取り上げ、どのような学習活動を行えば、道徳授業は「問題解決的」になるのか。

実践報告 興梠 美帆 先生（桜木中教諭） 実践例：道徳教育モデル校の公開授業から
コーディネーター 出田 久斉 先生（桜木中教諭）

分科会 D 「道徳的行為に関する体験的な学習」とは？

道徳で目指すのは「道徳的实践力」の育成であって、「道徳的实践」ではないと言われてきた。これからはどうか。

実践報告 岩野 智典 先生（泉ヶ丘小教諭） 実践例：熊本市教育センター研究員の
コーディネーター 安井 琴美 先生（本荘小教諭） 取り組みから
境 理華 先生（帯山中教諭）

14:15~17:30 全体会（シンポジウム）
全体司会 教育学部准教授 今井 伸和

14:15~15:45 基調講演 「特別の教科 道徳」の指導法を考える
講演者 林 泰成 先生（上越教育大学副学長・日本道徳教育学会理事）

16:00~17:30 各分科会からの報告と全体討議
コーディネーター 教育学部長 八幡 英幸

講演者紹介

林 泰成 先生

◇ 主な職歴

- 1991（平成 3）年より 同志社大学文学部嘱託講師（1996 年まで）
- 1996（平成 8）年より 上越教育大学助教授（2007 年まで）
- 2007（平成 19）年より 上越教育大学教授（現在に至る）
- 2009（平成 21）年より 上越教育大学附属小学校長（2011 年 3 月まで）
- 2013（平成 25）年より 上越教育大学副学長（現在に至る）



◇ 主な著作

- 『ケアする心を育む道德教育』北大路書房（2000 年・編著）
- 『新訂 道德教育論』放送大学教育振興会（2009 年）
- 『人間としての在り方生き方をどう教えるか』教育出版（2010 年・共著）
- 『モラルスキルトレーニングスタートブック』明治図書（2013 年）
- 『特別の教科 道德の授業づくり チャレンジ』明治図書（2015 年・監修）

参加申し込み

参加申し込みにつきましては、2月24日（金）までに、ご氏名、ご所属と、参加を希望される分科会（A～D）を明記の上、①別紙申し込み用紙を用いて下記宛先までFAXしていただくか、②下記メールアドレスまで電子メールにてご連絡ください。

① FAX送信先

熊本大学教育学部総務担当 096-342-2510（FAX専用）

② 電子メールアドレス

同上 kyo-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

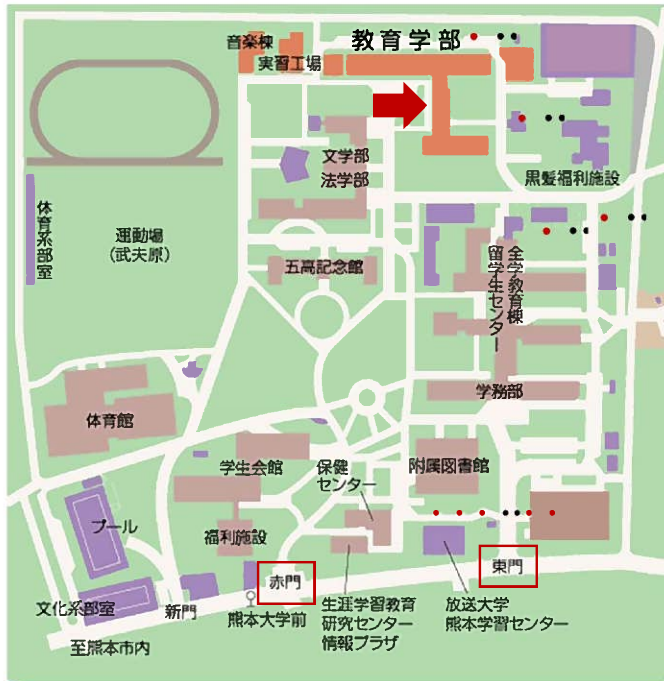
◇ 参加予定人数 学校教育関係者 約200名

◇ 参加費・資料代 無料

◇ お問い合わせ先 教育学部長 八幡 英幸 yahata@kumamoto-u.ac.jp
教育学部准教授 今井 伸和 nimai@educ.kumamoto-u.ac.jp

◇ 以下のWebページでも本行事についての情報を提供します
<http://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/web/>

会場案内



・可能な限り、バスなどの公共交通機関をご利用ください。

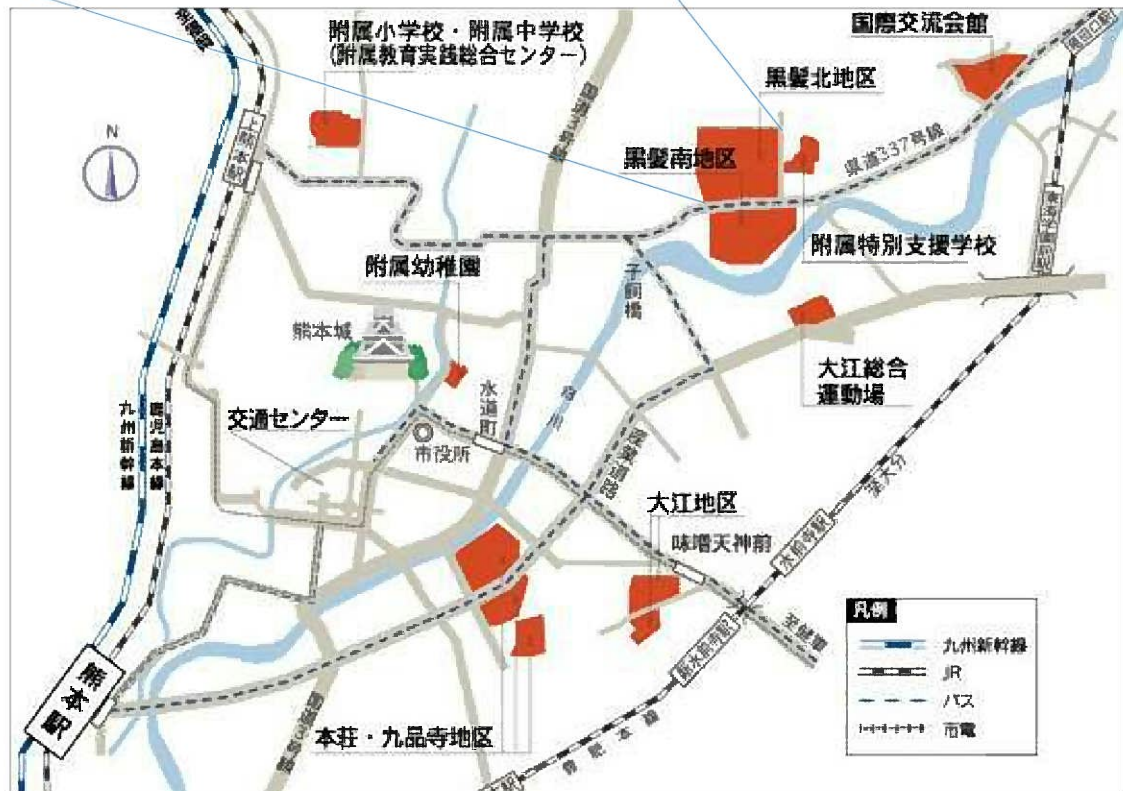
・バスでお越しの方へ

熊本大学前バス停で下車し、赤門から入り、五高記念館横を通り、教育学部本館までお越しください。会場へは赤い矢印で示した入り口からお入りください。

・自家用車でお越しの方へ

東門から入り、ゲート（12時から13時まで開放）を通過し、会場周辺の駐車スペースまでお越しください。会場への入り口は上記と同様です。

・震災復旧のため、構内の一部は立ち入り禁止になっています。



JR 熊本駅から	産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘行き等に乗車、「熊本大学前」下車 市電+産交バス：健軍行きに乗車、「水道町」で産交バスへ乗換
JR 竜田口駅から	産交バス：交通センター行きに乗車、「熊本大学前」下車